

女性管理職が語る

パートナーと応援しあう

女性がキャリアを積んでいく際、悩みの一つにパートナーとどのような関係性を築いていくかという問題があります。子育てや介護、お互いの転職などが関わってくるおさらです。当社のキャリア研修でもこれに関連した質問がよくあります。

共働きでお互いがどのようにキャリアを構築していくのかはとても難しい問題で、どうするか正解はありません。私と夫の場合は、話し合いの結果、お互いに同じくらい家事と3人の子供の育児の負担をし、多くの家事を外注することを選んで

います。また、これまで3回転職しましたが、昇進や転職を断ったこともありです。

まだ夫婦になり10年ですが、自分の経験から大事だなと思うことを3つ紹介したいと思います。1つ目は、パートナーと納得いくまで話し合うことです。家事や育児の負担はもちろん、キャリアに関しての話し合いも定期的に欠かせません。

当社では自分のキャリアについて上司と半年に一度話し合う機会があるのですが、その前に毎回夫と話し合っています。お互いの今の仕事について、次はどのような挑戦

を進めたいという一本道にこだわらず、柔軟性を持っておくことです。会社の様々な制度の活用、転職や副職など自分にはいろいろな選択肢があると考えると、気持ちも少し楽になります。

選択肢を広げるには、意図的に仕事上のスキルを身につけることが重要です。誇りに思えるようなスキルなどないと思う人もいるかもしれませんが、自分の仕事を細分化してみて「得意である」もしくは「他の仕事でも

生かせる」と思うことを見つけてみてください。それを見つけたら、今以上に伸ばす努力をしてみたいと思います。そして最後は「心からお互いを応援すること」です。「自分は育休をとらないといけないのにパートナーは思う存分に働けるわけではもちろんありません。しかし、小さい3人の娘が成長していくなかで見る一番近い女性、一番近い夫婦として見せたい背中があります。キャリアも子育てもまだまだ続きます。たくさんさんの失敗を重ねながらも、奮闘の日々です。

ポールディレクター
ガポール
事業部
シケブ
P&G
ホニ
シニ

長神 真梨子氏



ちょうじん・まりこ 2010年大学卒業、日本法人マーケティング本部入社。ベビーケアやホームケア事業部などを経て、17年より2度目のシケブに赴任中。3児の母。

話し合います。

ときには、どちらかのキャリアを優先するタイミングがあるかもしれない。しかし、話し合いの結果や状況はその時々で変わるものですし、それでいいのだと思います。そして自分のキャリアを優先してもらったときは、感謝を忘れないように意識しています。

2つ目は、自分もパートナーもキャリアはこう

お互いを応援することです。私の思う3つの大事なことに少し偉そうに書きませんが、私自身も常にこの3つができていくわけではないです。3人の娘が成長していくなかで見る一番近い女性、一番近い夫婦として見せたい背中があります。キャリアも子育てもまだまだ続きます。たくさんさんの失敗を重ねながらも、奮闘の日々です。

2つ目は、自分もパートナーもキャリアはこう